

経営の新視点 (12)

フェムテックが注目を集めている。フェムテックとは「Female (女性)」と「Technology (技術)」を合わせた造語で、生理や妊娠、更年期など女性特有の健康課題をテクノロジーで解決するサービスやプロダクトを指す。

女性の社会進出に伴いライフスタイルが多様化、少産化や晩婚化・晩産化が進んだ結果、授乳期間が短くなり、生涯月経回数は激増した。月経困難症などの生理痛から生活の質(QOL)や生産性が低下する課題が顕在化している。

フェムテックでは月経周期などを含む健康管理・トラッキング(追跡)、女性ホルモンの簡易検査キット、専門家による相談・サポートなど様々なサービスが登場している。月経随伴症状や不妊治療、更年期など女性特有の健康課題の解決策としても期待されている。

経済産業省は2020年、働く女性が女性特有の健康課題と仕事を両立できた場合の経済効果が25年時点で2兆円にのぼると試算しており、そのインパクトは大きい。

海外ではスタートアップを中心に、女性の悩みを解決するための技術開発が進んでいる。

フランスの健康機器メーカーWithingsは、世界最大級のテクノロジー展示会CES2023に開発中の家庭用尿検査IoT機器「U-Scan」を出展した。ト

フェムテックサービスの例

生理・月経	<ul style="list-style-type: none"> 吸水ショーツ、月経カップ 月経管理アプリ、サービスなど
不妊・妊よう性	<ul style="list-style-type: none"> 妊活サポートアプリ、サービス 卵子凍結サービスなど
更年期	<ul style="list-style-type: none"> 更年期ケアアプリ、サービス 更年期ケア用品など
その他	<ul style="list-style-type: none"> 各種検査サービス(乳がん、子宮頸がんなど) ホルモン検査など

フェムテックが開く新たな社会

イレに直径9センチの円形の計測用カートリッジを取り付けるだけで、尿から女性ホルモンなどを計測、排卵期や月経サイクルを明らかにできるようにする装置だ。ホルモン検査の技術と検査結果のスマートフォンへのアプリ連携を組み合わせることで、毎朝基礎体温を計測・記録する手間から女性を解放するのが狙いの一つだ。

スペインの企業が開発した生理痛軽減アプリ「Moonai」、英国のAstinnoが開発した更年期障害を抱える女性のためのブレスレット型ウェアラブルデバイス「Grace」などもある。課題解決のため、多様なアプローチで技術・サービスの開発が進んでいる。

女性が健康に活躍できる社会を構築するには、子供を持ちたいと思う若いカップルへの支援も重要だ。出産適齢期とされる20~30代前半の女性には自身のキャリア形成を優先するがあまり自分の健康状態を軽視してしまうリスクがある。

若い世代に妊娠・出産に備えた知識を提供する「プレコンセプションケア」も注目を集めている。企業だけではなく、自治体もリーフレットや動画などによる普及啓発に取り組み始めている。

フェムテックサービスの広がりを見かけに、これまでなかなか女性の側から相談することが難しく、顧みられることが少なかった女性の健康課題への注目がさらに高まるだろう。女性特有の健康課題への対処の必要性を認識する企業が増え、男女が共に健康に活躍できる社会になることが待たれる。



にわ・まいこ
2007年入社。
医療・ヘルスケア領域を中心に、コンサルティング・調査に幅広く従事。

22年4月に公表した「【健康経営とフェムテック】「正社員男女の健康意識に関する実態調査」」を企画・実施した。